

発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所 森吉山ダム管理支所
秋田県北秋田市根森田字姫ヶ岱31 TEL：0186-60-7231 FAX：0186-60-7232
<https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro//kasen/moriyoshi/>



さらなる水源地域の活性化を目指して

第13回 森吉山ダム水源地域活性協議会

第13回森吉山ダム水源地域活性協議会を3月8日(金)北秋田市第二庁舎で開催し、森吉山ダム水源地域ビジョンの推進に向け意見を交わしました。協議会では四季美湖地域づくりネットワーク森吉山の活動報告として、佐藤慶博チーフが今年度の活動を紹介。4年ぶりの通常開催となった「四季美湖まつり」や水辺の環境整備の他、来年度の活動方針案として「四季美湖畔公園が地域づくりのための重要な観光拠点となることを目指す」等を報告しました。その後、会員の方々から助言や提言をいただき、これからも水源地域の活性化を通じ、さらなる地域内経済の循環に繋がってほしいとの期待が多く寄せられました。



活発な意見交換が行われました



活動報告書 (A3版 表裏) →

「元気な大館・北秋田地域づくり活動顕彰事業」表彰



▲ 表彰式の様子。おめでとうございます！

北秋田地域振興局で行われている「元気な大館・北秋田地域づくり活動顕彰事業」について令和5年度は「四季美湖地域づくりネットワーク森吉山」が受賞し、3月14日(木)に表彰式が行われました。



↑ 佐藤チーフによるお礼の言葉

この事業は、地域における様々な課題の解決や、個性的な地域づくりのために、自主的・主体的な地域づくり活動に取り組む団体・個人を表彰することで、地域づくり活動に対する機運の醸成と普及・拡大を図ることを目的に実施されています。

ノースアジア大学HP掲載

森吉山ダムを観光資源に

続いて向かったのは、39年の歳月を経て2012年に竣工した森吉山ダムです。ダムの概要や役割についてパネルと模型でダムの管理業務にあたる磯山英行さんの説明を受けた後、地上から約60mの地下施設を降り、放流ゲートや発電機などを見学します。観光客のために華やかにライトアップされている箇所もありました。



帰着後、学生は「秋田県民が秋田の観光資源の貴重さやその美しさに気づけていないことが、最大の課題であることが分かった。」「そこにはかきいものをどのように工夫するか、発信していくかを改めて考える貴重な機会になった。」「といったまとめを行ない、深い学びを得たフィールドワークとなりました。

ノースアジア大学 法学部国際学科の学生14名が森吉山ダムを訪れ、冬の観光を調査し考察するフィールドワークを実施。そのレポートがホームページに掲載されました↓
<https://www.nau.ac.jp/news/154564.html>

女性目線の山ダム情報



3月7日撮影 今年希少だった四季美湖の結水



四季美だより2月号で暖冬の影響で湖面が結水していないことをお伝えしましたが、今冬は部分的な結水は見られたものの、全面結水は確認できませんでした。毎朝事務室の窓から「今日は凍ったかな？」と湖面の様子を伺うのが日課になっていました。気温が下がった日の朝に撮影した、今冬で1番結水していたと思われる湖面の写真をご紹介します(^^) 正午前にはあっという間に解けてなくなってしまいました。